

みずが はぐくんだ ぶんか

生活 そして歴史

「高瀬舟絵馬」（雷電神社蔵－安政２年－）



高瀬舟

「利根川(上州)高瀬舟」は、瀬の浅い川を進むための知恵と技を凝らした超大型船です。船首の反りが大きく、底が平らで幅の広いシキ(底板)が特徴で、船体を軽くするために板材を薄くし、アバラ、カメ、トネギなどの補強材を使っています。米俵200俵を積んで運行することができました。

再建した「高瀬舟」「揚舟」「田舟」

設　計　者：【高瀬舟】平野雅一（横須賀市船越町）　【揚舟】【田舟】砂賀良夫
船　大　工：(株)ふるさと村　砂賀良夫（邑楽郡明和町斗合田）
　　森造船所　森　栄一（茨城県猿島郡境町）
施工(建造)費：5,827,500円（文化庁「ふるさと文化再興事業」により全額補助）
事　業　者：板倉町伝統的水郷空間活性化委員会

【高瀬舟】〈実物の約1/3〉　全長：8.0m・全幅：2.07m・中央部深さ：0.59m・帆柱長：6.6m・帆桁：3.59m
【揚　舟】(水害時の用心船)　全長：7.0m・全幅：1.6m・中央部深さ：0.36m
【田　舟】(湿田などでの運搬)　全長：1.3m・全幅：0.8m・中央部深さ：0.18m

水運

利根川と渡良瀬川に挟まれた板倉町は、古代より、水の恵みを受けると同時に、洪水に悩まされ、水との共生を図ってきた歴史があります。そこには水と共生するためのさまざまな「知恵」が生まれ、「文化」が生まれ、そして継承してきました。「田舟」や「揚舟」もその一つです。また、江戸時代には、利根川や渡良瀬川が物資輸送の大動脈となり、河川舟運用として「高瀬舟」が活躍しました。このように「舟」は、生産や交通・経済などの面において、私たちの生活を大きく支えるものでした。



於　谷田川(舟下ろし)

信仰





水を司る飛龍

彫り物



洪水を治めたというヤマタノオロチ伝説

雨乞い神事

お水取（みずとり）





ウナギとりの唐子

刈



マコモ刈り場(茅の輪の材料)

作



茅の輪づくり

人形（ひとがた）



夏越（なごし）



流



雷電龍となって昇天する

雷神信仰

利根川流域は、古来より水神・雷神の信仰がとても厚い地域です。そして、雷神信仰と大杉信仰地域に大きく二分されています。板倉町の雷電神社は、総本宮です。そして大杉様の総本宮は茨城県稲敷市(旧桜川村)にあります。高瀬舟には、大杉様を祀ることが多かったようですが、雷電信仰としては川俣河岸(明和町)の様子をあらわした絵馬(表紙)の奉納や、「雷電丸」と命名した館林市早川田河岸の例があります。



大杉神社(海老瀬)

大杉囃子（おおすぎはやし）の道行き



大杉信仰

文化的景観

谷田川流域の文化的景観

平成16年に文化財保護法の改正により、「文化的景観」が、文化財の一つと位置づけられました。「文化的景観」とは人間の手が加わることによって守られてきた「景観」のことです。生業の中から生まれた景観は、人間と自然との織りなすその地域独特の景観をつくりだしています。

それに先だって行われた「農林水産業に関する文化的景観」（文化庁）の調査によって、平成15年、板倉町の谷田川流域は渡良瀬遊水地の複合景観としての重要地域という認定を受けました。

板倉町は、低湿地ゆえの「知恵」と「文化」が息づいた水郷景観を随所にみることができます。

しかし、治水事業などにより、ややもすると「先人の知恵」が忘れ去られたり、荒れ地と化していることも少なくありません。

このありふれた景観の中にこそ、すばらしいものがあります。是非一度地域をみまわしてください。

《群馬の水郷域》

飯野の川田



河川敷を利用した掘上げ田



水に浸かった川田

周囲に堀を掘り、その土で高く盛土した面を耕作します。耕作面積を増やすための低地の人々の知恵です。しかし、大雨が降り、谷田川の水位が上がるたびに水に浸かってしまいます。



ヤナギ山



谷田川の中州にあります。昭和の初期まで冬になると挿し木をして、燃料を得るために造林していました。ほとんどがアカメヤナギ(雄ーオトコヤナギ)です。昭和30年代後半までは薪として利用していました。

《谷田川下流域》

谷田川サイフォン（地下水路）



（取水口）



（出水口）



潜り橋(合の川橋)

水に潜った橋(平成14年台風6号)





谷田川第一排水機場

排水機場の整備によって、板倉低地は穀倉地帯となる



日本で稼動している最古のポンプ(昭和23年製)



大箇野排水機場



（昭和29年製）

文化的景観エリア


渡良瀬川
渡良瀬川水塚群
旧矢場川水塚群
群馬の水郷域文化的景観
谷田川
海老瀬水塚群
利根川
谷田川下流域文化的景観
利根川水塚群
古利根水塚群

渡良瀬川流域の文化的景観


海老瀬水塚群(小林定吉宅)


海老瀬水塚群(江田常一宅)


旧矢場川水塚群(田村雅樹宅)


渡良瀬遊水地ヨシ焼

利根川流域の文化的景観


古利根水塚群(岡田嘉一宅)


谷田川第二排水機場

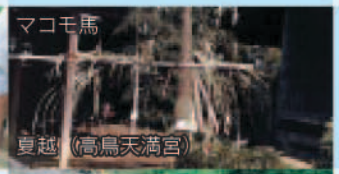

利根川の柴焼き


掘抜き井戸(飯野)


天保の締切り跡

「利根川東遷事業」によって合の川(通称古利根川)は締め切られました。(約170年前)

水ごよみ

		食	産業	まつり	昔の行事など
冬	1	（正月料理） 七草がゆ（7日） 小豆がゆ（小正月） 十王飯	鍬入り 初市 柴焼き（利根川）	 弓取り式  どんとん焼き	ヨシズ編み（3月～）
	2	すみつかれ（初午）	 柴焼き（谷田川）	 高鳥天満宮例大祭	
春	3	よもぎ餅（桃の節句）	 ヨシ焼き（渡良瀬遊水地）	大杉様	
	4		水利権（～9月） 田植え（東・南地区）  揚舟ツアー（～6月）		麦念仏（大曲・西岡新田）
	5	柏餅 サナブリ（南・東地区） サナブリ（西地区）	田植え（西地区）	 雷電神社大祭	
夏	6	サナブリ（北地区）	水路の藻刈り（南地区） 麦刈り・田植え（北地区）	夏越（雷電神社）	
	7			 マコモ馬 夏越（高鳥天満宮）	夏越（雷電神社）
	8	（盆の食） 朝：黄粉ぼたもち 昼：うどん　（14～16日） 夜：白飯・南瓜と切りこぶ煮 （13～15日）	稲刈り（東・南地区）	 川への盆送り	
秋	9		揚舟ツアー（～10月） 水路の藻刈り 稲刈り（西地区）		
	10	雑魚煮	 稲刈り（北地区）		
	11	（餅つき：餅なし正月の家）	麦まき	えびす講	
冬	12	南瓜・柚（冬至） （餅つき） （大掃除の日の食） 年越しそば		 正月棚づくり 注連縄づくり 火番小屋（愛宕様）	柳の枝伐り（燃料） 柳挿し木作業 ヨシ刈り 暮市

発　行　板倉町教育委員会　〒374-0192　群馬県邑楽郡板倉町板倉2067　TEL.0276-82-1111　内線157
発行日　平成17年10月23日　http://www.town.itakura.gunma.jp